

ご存知ですか？

大雄会第一病院

地域包括ケア病棟

高齢化社会に伴う地域の医療ニーズに応えるため、大雄会第一病院は令和7年2月、「地域包括ケア病棟」を開設しました。でも、一般病棟となりが違うの？など、その機能はあまり知られていないかもしれません。そこで今回は、大雄会第一病院の看護スタッフが、「地域包括ケア病棟」をわかりやすく解説します！

■ 「地域包括ケア病棟」とは、どんな病棟なの？

地域包括ケア病棟とは、「急性期の治療を終えた患者さまや在宅療養を行っている患者さまが、安心して在宅復帰できるように支援するための病棟」です。医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士が連携し、退院後の生活に向けた医療、介護、リハビリテーションなどのサポートを行います。「自宅に帰るのは少し不安だ…」 「もう少しリハビリをしてから退院したいな…」 といった患者さまの声に答え、安心してスムーズに在宅復帰していただけるよう、大雄会第一病院では担当スタッフが全力でサポートしております。

■ 地域包括ケア病棟は、どんな人が利用できるの？

地域包括ケア病棟の対象となる方は、

- 入院治療により病状が改善したものの経過観察が必要な方や、在宅復帰に向けてリハビリや療養準備が必要な方
- 介護保険サービスの利用や住居改修の準備中の方
- 一時的に入院が必要になった在宅療養中の方
- 施設入所の申し込み中で在宅生活に不安がある方…等です。

さらに、介護者の負担軽減や休息を目的とした「レスパイト入院」にも対応しています。

<レスパイト入院とは> 介護者の事情や休息が必要な場合に、患者さまが短期間入院することで、介護者さまの一時的な負担を軽減する制度



■ 地域包括ケア病棟では、どんなスタッフが何をしてくれるの？

地域包括ケア病棟では、看護師が日々のケアを行います。一般的な入院と同様にバイタルサインの測定や身体の清

潔ケアのほか、患者さまの在宅復帰を手助けできるような支援、例えば患者さまがご自身でできることについては患者さまご本人にやっていただく…など「残存機能の保持」も目指しています。日々のリハビリテーションに関しては理学療法士や作業療法士と連携しますし、それ以外にも医師や薬剤師、管理栄養士などと情報を共有しながら、個々の患者さまに必要なケアをご提供しています。また退院後の生活支援には、医療ソーシャルワーカー、ご家族、退院先の施設職員さま等との連携も欠かせません。病棟スタッフはもちろん、多職種と関わりながら支援を行っております。

■ 皆さんへメッセージ

大雄会第一病院の地域包括ケア病棟は、患者さまの「もう少しリハビリしたい」「自宅に戻るのが不安」という気持ちに寄り添い、安心して在宅復帰していただける環境のご提供を目指しています。スタッフ一同、患者さまが安心して退院し、住み慣れたご自宅で快適な生活を送れるよう、全力でサポートさせていただきます！

地域包括ケア病棟についてのお問い合わせは、地域医療連携室までご連絡ください。地域医療連携室：☎0586-26-2366（直通）



次回は、多職種連携の実際についてお話していきます。



大雄会第一病院 地域包括ケア病棟スタッフ

